

数理・データサイエンス・A I 教育プログラム自己点検評価報告（令和 4 年度）

1. 自己点検評価の内容

福山大学は、現在、数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル）、（応用基礎レベル）を継続している。具体的には、リテラシーレベルは、3 年目（令和 2 年度開始）、応用基礎レベルは、2 年目（令和 3 年度開始）である。

リテラシーレベル、応用基礎レベルともに、令和 3 年度の実績により、文部科学省の「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル・応用基礎レベル）」として認定された。認定有効期限は令和 9 年 3 月 31 日である。認定を受けて、Web ページで次のように記載している。Web ページの記載で、応用基礎レベルが工学部となっているのは、令和 3 年度の修了者の実績によるものである。応用基礎レベルは、工学部の学生に限定せず、全学の学生が受講できる。

○ リテラシーレベル（全学部）

数理・データサイエンス・A I への関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成します。リテラシーレベルについては、1 年生のときから一部の授業が始まりますので、入学予定者の皆さんは楽しみにしてください。

○ 応用基礎レベル（工学部）

数理・データサイエンス・A I に関して、リテラシーレベルよりも進んだ内容で、課題を解決するための実践的な能力を育成します。工学部の学生を対象としていますが、自由聴講制により、全学生が履修できます。

修了証の発行について

福山大学数理・データサイエンス・A I 教育プログラムを修了した学生には、事前（卒業する年度）の本人からの申し込みにより、卒業時に修了証が発行されます。修了条件の説明は下にあります。修了証の申し込みについては、教務課で行うことができます。

令和 4 年度入学生からは、両レベルにおいてカリキュラムの変更と修了条件の変更を実施しており、学生が専攻する分野に応じた内容の充実、データサイエンスと AI に関する内容の充実を行っている。以上のような取り組みを通じ、適切な教育内容を提供していることを確認し、今後も改善を継続していく。また、他大学との連携強化も進めており、更なる発展を目指して取り組んでいる。今後も、適切な教育内容を提供し、より良い人材育成を目指していく。

2. 実績

・令和 4 年 4 月：数理・データサイエンス・A I 教育部門の設立。

- ・令和 4 年 6 月: 教材（パワーポイント）の共有を開始。次の 3 コマ分である。
 1. 人工知能の概要: 人工知能でできること, 人工知能の種類, データサイエンスでできること, 人工知能の現状, 人工知能による社会の変化
 2. データサイエンス・AI の事例: 表計算ソフトウェア Excel, 散布図 (Excel を使用), 合計、平均 (Excel を使用), 分布、密度 (Excel を使用), 人工知能による分類, 特徴抽出, 人工知能による生成
 3. データサイエンス・AI の演習: 政府統計データ, クロス集計表 (Excel を使用), 相関 (Excel を使用), 平均, 誤差, オープンデータ

- ・令和 4 年 8 月: 福山大学数理・データサイエンス・A I 教育プログラムが、文部科学省の「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム (リテラシーレベル・応用基礎レベル)」として認定された。
 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル・応用基礎レベル)」の認定・選定結果について
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/1413155_00011.htm

- ・令和 4 年 8 月: 上記認定を受け、公式ロゴを使用開始（ホームページに掲載）

- ・令和 4 年 11 月: 中国四国地区の他の高等教育機関への普及活動に貢献。
 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム 2022 年度 第 2 回コンソーシアム中国ブロックシンポジウムで講演。福山大学の取り組みについて説明した。
 (2022 年 11 月 25 日)

- ・令和 5 年 2 月: 福山平成大学の数理・データサイエンス・A I 教育プログラムとの連携を開始。
 教材提供と、それに対するレビューの受け入れを行った。レビューは今後の教材改善につなげる。
 福山平成大学の数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの自己点検評価報告書に対して、外部の立場からのコメント、改善提案を行った。

3. 次年度の活動計画

以下は、数理・データサイエンス・A I 教育部門・令和 5 年度（次年度）の活動計画である。

(1) 自己点検の継続

数理・データサイエンス・A I 教育プログラム (リテラシーレベル)、(応用基礎レベル)

の教育内容について、学生の理解の度合い、満足度、社会の変化の反映等を勘案しながら検討を継続し、必要な変更がある場合には、令和 6 年度のシラバス変更を行う

(2) 関係する Web ページの必要な更新の継続

関連する Web ページの情報が最新であることを確認し、必要な更新を継続的に行う。

(3) リテラシーレベルの修了証の発行開始

リテラシーレベル（令和 2 年度開始）は 4 年目となり、卒業時に修了証を受け取ることができるようになる。

(4) 福山平成大学との連携の継続

教材共有や自己点検評価など、福山平成大学との連携を継続していく。

(5) 中国四国地区の他大学との連携の継続

積極的に機会をとらえ、中国四国地区の他大学との連携を継続していく。

(6) 数理・データサイエンス・AI の教材

令和 4 年度に 3 コマ分のパワーポイント教材を作成済みであるが、令和 5 年度内に必要な更新や充実を行う。

以上が、数理・データサイエンス・A I 教育部門の令和 5 年度の自己点検評価報告（次年度の活動計画の案を含む）になる。必要に応じて変更や追記を行う。